

# 地域活性化に寄与する 公共施設のあり方とは

～ PFIによるスポーツ施設整備の可能性 ～

【日時】 2015. **10.27** (火) 14:00～17:00

**入場  
無料**

【会場】 **作新学院大学 中央研究棟108教室**  
(宇都宮市竹下町908番地) (1階)

※事前要申込み  
※駐車場あり

## ◆基調講演

### PFIの有効活用による地域活性化

講師：大竹 弘和 氏 (神奈川大学人間科学部教授)

## ◆パネルディスカッション

### 栃木県におけるスポーツ施設整備のあり方を考える

<パネリスト>

大竹 弘和 氏 (神奈川大学人間科学部教授)

佐藤 淳 氏 (株式会社あしぎん総合研究所 経営サポート部主任研究員)

太田 正 氏 (作新学院大学経営学部長)

<コーディネーター>

関根 正敏 氏 (作新学院大学経営学部講師)



## ◆お申込み方法

作新学院大学地域協働広報センターまで、電話(028-670-3614)、FAX(028-667-7110)  
E-mail(renkei@sakushin-u.ac.jp)のいずれかの方法で事前にお申込みください。※裏面にFAX用のお申込書あり

<主催> 作新学院大学スポーツマネジメント推進センター

<後援> 栃木県 / 栃木県教育委員会

株式会社栃木サッカークラブ (栃木SC)

サイクルスポーツマネジメント株式会社 (宇都宮ブリッツェン)

株式会社リンクスポーツエンターテインメント (リンク栃木ブレックス)

株式会社栃木ユナイテッド (H.C.栃木日光アイスバックス)



作新学院大学

お問い合わせ

【地域協働広報センター】 TEL (代表) 028-667-7111

TEL (直通) 028-670-3614

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町 908

http://www.sakushin-u.ac.jp/

## 地域活性化に寄与する公共施設のあり方とは

日時： 2015年10月27日 (火) 14:00~17:00

会場： 作新学院大学 中央研究棟108教室 (1階)

### 【趣旨】

設置計画の白紙撤回がなされた「新国立競技場の建設問題」や、大規模な収容定員のホームアリーナ設置を求めた「プロバスケットボール新リーグ問題」など、昨今、スポーツ施設に関する話題は大きな注目を集めています。そこでクローズアップされるのは「莫大な建設コストを誰が負担し、いかに削減するのか」という側面で、この費用の側面は昨今の公共施設のあり方を考える際に看過することはできません。さらに、見逃してはいけないのが「住民にとって価値の高い施設をいかに設置するか」という機能の側面で、今後の施設整備をめぐるには、これら双方の視点からよりよい施設のあり方を考える必要があります。

そこで、今回のシンポジウムでは、民間の知恵を活用してスポーツ施設を整備するPFI (Private Finance Initiative) という手法に着目しながら、「地域活性化に寄与するスポーツ施設のあり方」について考えていきたいと思えます。コスト面を十分に考慮しながら、機能的に優れた施設を整備することはいかに可能か、そうしたヒントをPFIという手法に求めながら、スポーツ施設整備の可能性や課題を展望します。2022年に国民体育大会の開催が決定した栃木県では、スポーツ施設の新設・改修等を通じてその実施体制を構築することが喫緊の課題となっており、まさに今、こうした施設問題についての議論が求められています。このシンポジウムを通じて、「国民体育大会のための施設」ではなく、「地域活性化に寄与するための施設」を整備するためのヒントを明らかにするとともに、栃木に「正のレガシー (遺産)」を残す機運を高めていきたいと考えます。

---

## お申込書

作新学院大学 地域協働広報センター 宛  
(FAX 028-667-7110)

お名前

---

ご住所

---

お電話番号

---

E-mail

---

ご職業／勤務先

---